

石神井学園

設置年月: 明治42年
 所在地: 〒177-0045 東京都練馬区石神井3-35-23
 事業種別: 指定管理事業 児童養護施設(定員134名)
 施設分園型グループホーム
 地域小規模型グループホーム
 地域子育て支援事業



<http://shakujii-gakuen.tokyo/>

地域の人々に見守られながら、子どもたちが、恵まれた環境の中で成長しています。

石神井学園は、創設から100年を超える歴史のある施設です。石神井学園では、生活支援・医療・教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能モデル事業」にも取り組んでいます。

《 運営の特色 》

1. 利用者本位の質の高いサービスの提供
 - ・専門的な支援の充実
 - ・家庭的な寮運営の推進
2. 公的な役割の強化
 - ・特別な支援が必要な児童の受入れなど社会的養護のセーフティネットとしての役割
 - ・重篤な虐待児童の「連携型専門ケア機能モデル事業」の実施
 - ・特に新任職員に手厚い福祉人材の養成



INTERVIEW 「育児と仕事の両立について」



いとう ちかこ
伊藤 千賀子

職 種: 福祉
 勤務先: 石神井学園
 職 歴: 正規職員採用 平成23年4月
 契約職員採用 平成21年4月

Q. 育児休業を取得した感想を教えてください。

約1年間、育児休業を取得しました。初めての出産育児であり、右も左もわからない中で、育児に専念できたことは大変ありがたく、育児の大変さや楽しさを味わうことができ、貴重な経験となりました。



Q. 育児と仕事の両立について、教えてください。

子どもが1歳のときに職場復帰しましたが、子どもの体調不良などで急遽休まなければならない時なども、上司や同

僚が理解を示してくれました。職場では“お互い協力し合う”という雰囲気があります。職場の理解があることで、育児と仕事のバランスがとれていると感じています。

Q. 事業団の魅力とは、何ですか？

長く働き続けながらステップアップもしたい、一方でライフイベントも大切にしたいと考える人にとって、制度や職場内でのサポート体制があるのが魅力だと思います。



小山児童学園

設置年月: 昭和25年
 所在地: 〒203-0041 東京都東久留米市野火止2-22-26
 事業種別: 指定管理事業 児童養護施設(定員64名)
 施設分園型グループホーム



<http://koyama-gakuen.jp>

職員の良好なチームワークなくして、児童の安定した生活なし。

小山児童学園では、職員の良好なチームワークこそが、子ども達の安定した生活を支えるという強い信念のもとに、職員が一丸となり、時には学園をあげて日々の課題に取り組んでいます。

《 運営の特色 》

1. 特別な支援が必要な児童の受入れに努める
 病虚弱や情緒障害、被虐待等の医療や心理的ケアを必要とする児童を多く受け入れている。
2. 高齢児童の受入れに努める
 中高生の比率が2/3以上となっており、特に都立施設として、情緒・行動上の問題を抱える中高生児童受入れの役割が期待されている。
3. 積極的な児童支援の取組に挑戦する
 ココカラ(性教育)委員会での活動など、若手職員を中心にして積極的な児童支援の取組に挑戦していること等があげられます。



INTERVIEW



たかはし けいすけ
高橋 佳祐

職 種: 福祉
 勤務先: 小山児童学園
 職 歴: 正規職員採用 平成30年4月
 契約職員採用 平成29年4月

Q. 事業団で働こうと思った理由・きっかけは？

以前、他法人の障害児施設に勤務していましたが、様々な経験を通して児童養護施設に関心を持ちました。日に日に児童養護施設で働いてみたいと思うようになり、ある時事業団のホームページを見つけました。児童養護のみならず障害福祉の施設も運営していること、人材育成に力を入れていること、福利厚生もしっかりしていること等から働きたいと思いました。

Q. 事業団で働いて良かったと思う点は何ですか？

都立施設との交換研修や見学・交流が持てる等の貴重な経験が出来ることや、内部・外部の研修が充実していて支援技術の向上や自己啓発につながっているところです。

また、管理職や先輩職員と気軽に意見交換や相談が出来る風通しの良さや、職員同士が仲良く、連携し合えるチームワーク力が魅力だと思います。自分の子どもの体調不良などにより急遽仕事を代わってもらう時もありますが、「お互い協力し合う」といった雰囲気でも理解がある職場であることも、この施設で働いて良かったと思える点です。



八街学園

設置年月: 昭和21年
所在地: 〒289-1103 千葉県八街市八街に151
事業種別: 指定管理事業 児童養護施設(定員64名)



<http://yachimata-gakuen.jp/>

はばたけ 君の未来へ

八街学園では、児童が将来、生活する力を持ち、自立した社会人として、生活できるよう計画的な支援に取り組んでいます。

《運営方針》

1. 児童一人ひとりの個性・主体性を尊重した支援

基本的に児童一人ひとりが自分の部屋を持ち、プライバシーに配慮しています。また、個別のニーズを尊重し、児童と職員との話し合いで生活のルールづくりを行うなど、きめ細やかな支援を進めています。

2. 高齢児の自立支援

将来の自立に向けての支援を積極的に行うため、社会適応能力の向上と自立心の養成を目的として、高校生を中心に就労体験や自活訓練を実施するなど、退所及び自立を目指した取組を推進しています。



INTERVIEW



かとう だいき
加藤 大輝

職種: 福祉
勤務先: 八街学園
職歴: 正規職員採用 平成30年4月
契約職員採用 平成29年4月

Q.事業団で働こうと思った理由・きっかけは?

学生のときは教員志望でしたが、友人の紹介で事業団のことを知りました。辛い思いをして施設に来る児童達のことを知り、傷ついた彼らに少しでも寄り添うことができる仕事をしたいと考えたことがきっかけです。

Q.この仕事のやりがいは何ですか?

児童と深く関わっていくほど、ときに言い合いになるなど、大変なこともたくさんあります。しかし、どんなに大変な思いをしても、児童の笑顔や喜びを共有できる体験ができたとき、「ああ、続けていて良かったな」と心が満たされる瞬間があります。そのことが今の自分のやりがいです。



勝山学園

設置年月: 昭和21年
所在地: 〒299-2115 千葉県安房郡鋸南町下佐久間1469
事業種別: 指定管理事業 児童養護施設(定員64名)



<http://www.katsugaku.org/>

海・山の豊かな自然に囲まれて、元気いっぱい勝山っこ。

「おはよう」「ただいま」「おかえり」「ありがとう」あいさつの花が満開です。子どもも大人も「わ」を大切にしながら、育つ施設です。

《運営方針》

学園の養育理念及び倫理綱領に則り、児童一人ひとりの自己肯定感を育みながら、情緒の安定を促し、生活習慣、社会性の習得、健全な成長を支援します。また、児童や保護者の状況を的確に把握しながら、家庭的な養育に徹し、安全で安心な生活の確保と利用者本位のサービスの提供を充実していくとともに、効率的な施設運営に努めます。

1. 利用者本位のサービスの徹底
2. 人材育成と運営体制の強化
3. 地域との連携強化



INTERVIEW



すとう たくみ
須藤 匠

職種: 福祉
勤務先: 勝山学園
職歴: 正規職員採用 平成28年4月
契約職員採用 平成27年4月

Q.事業団で働こうと思った理由・きっかけは?

当初から児童養護施設志望で求人を探していましたが、将来を考え障害者施設でも働いてみたいと考えていた時に、東京都社会福祉事業団を見つけました。児童養護施設だけではなく、障害者施設も運営しているというところに魅力を感じて選びました。

Q.今の職場の好きなところは?

先輩職員やベテラン職員の方々の方が優しく、仕事の話や他愛もない話を気遣うことなくできるというのは、様々な不安を抱えた新人の方にも働きやすいと感じます。温かい雰囲気のおかげで5年目になりました。

